

2025 年 5 月 22 日

株式会社アマダ

海外向けファイバーレーザーマシン「ORSUS-3015AJe」、

ベンディングマシン「SRB-1003」を販売開始

グローバル市場拡大に向けたラインナップ拡充



株式会社アマダ（神奈川県伊勢原市、代表取締役社長執行役員：山梨 貴昭）は、海外向けファイバーレーザーマシン「ORSUS（オルサス）-3015AJe」、ベンディングマシン「SRB（エスアールビー）-1003」を開発しました。2025年6月から順次、海外市場で販売を開始します。

板金加工は地域の産業構造の影響を受けるため、特に海外ではその地域に合わせたマシンのラインナップと提案が求められています。今回ラインナップに加わるマシンは、精選したアマダの差別化機能を搭載。設計の合理化、グローバル調達によりコストダウンを図り、ミドルレンジの中でもコストパフォーマンスに優れたマシンです。当社が得意とするハイエンドからミドルレンジまでのラインナップをより一層拡充し、差別化した新商品を投入することで、さらなるシェアの拡大を目指します。また、新規のお客さまに対しても、アマダのグローバルネットワークによるスピーディーな対応・供給により、本商品の販売促進を狙います。

ファイバーレーザーマシンの「ORSUS-3015AJe」、最大加工寸法3070mm×1550mm、発振器出力3kW、6kW、8kWをラインナップ。低重心キャレッジを採用し高加減速に対応することで、高速高品位加工を実現します。最新のNC装置「AMNC 4ie」を搭載し、初めて導入するお客さまでもより簡単な操作が可能です。主に北米、欧州、アジア他（日本を除く）を中心に投入する予定です。

ベンディングマシンの「SRB-1003」は、加圧能力1000kN、曲げ長さ3110mm、左右独立制御油圧シリンダーとナチュラルクラウニング機構の組み合わせにより、高い通り精度を実現します。作業改善と段取り削減に貢献するオプションや安全装置などをパッケージにし、初めて導入するお客

さまでも安心して作業が可能です。主に欧州、アジア他（日本を除く）を中心に投入する予定です。

アマダは総合的な生産性向上にお客さまとともに挑戦することで、モノづくり産業全体を支援します。さらにデジタル技術を駆使した工場全体の最適化やスキルレス化、自動化、環境負荷低減に対応したソリューション提案をより一層進めることで、社会課題の解決に貢献します。

以上

※ 掲載の情報は予告なく変更される場合があります